



令和4年度のプロモーション事業等の状況について

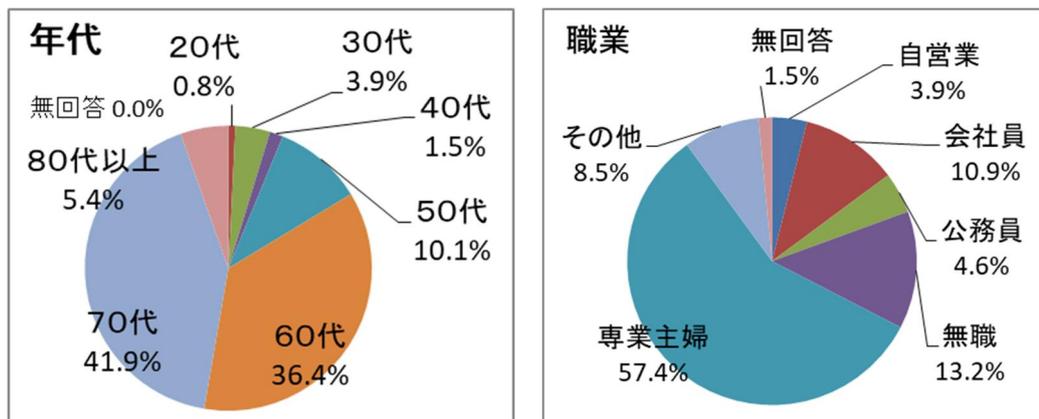
第3次エイジフレンドリーシティ行動計画の初年度を機に新たにプロモーション事業を行っており、普及啓発に関する実績は以下のとおりである。

1 特別講演会

日程 8月2日（火）15:00～16:30 アルヴェ2階多目的ホール
講師 「ハルメク」編集長 山岡朝子氏
演題 「雑誌ハルメク編集長が伝えたい素敵に歳を重ねるための『やめる習慣』『はじめる習慣』」
定員 150名（応募者数303通、2.0倍）

・アンケート結果 回答数129名 男性5.4%、女性93.8%、無回答0.8%

（内訳）



- ・ためになる話、両親にアドバイス出来る内容があり楽しかった。（30代・女性）
- ・「推し活」にとっても興味を持った。ポジティブな行動だと感じた。（50代・男性）
- ・大変共感できた。これからの人生を楽しく過ごしていきたい。（80代・女性）

2 記念講座（エイジフレンドリーシティの日）

日程 8月24日（水）アルヴェ2階多目的ホール
10:30～12:00 認知症サポーター養成講座
12:10～12:40 いいあんべえ体操

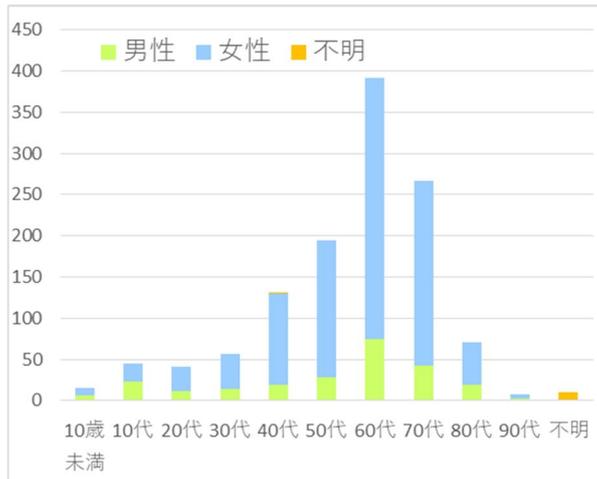
参加者数 45名

- ・今日学んだことを生かし、地域にいる認知症の方に対してできることを地域のひとと協力しながら話し合いたいなどの声があった。

3 エイジフレンドリーシティスタンプラリー

日程 8月24日（エイジフレンドリーシティの日）～9月19日（敬老の日）
 参加 12事業者（110店舗）
 応募者数 1,229名

(1) 応募者内訳（年代別）



	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代
男性	6	23	11	14	19	28
女性	9	22	30	42	111	166
不明	0	0	0	0	1	0
計	15	45	41	56	131	194

	60代	70代	80代	90代	不明	計
男性	74	42	19	3	0	239
女性	318	225	52	4	0	979
不明	0	0	0	0	10	11
計	392	267	71	7	10	1,229

(2) 応募者内訳（地区別）



(3) どのようにして知ったか（複数回答あり）

	広報	チラシ・ポスター	ホームページ	知人	テレビ番組	その他	無回答	計
男性	17	167	4	16	5	14	20	243
女性	95	664	9	80	32	87	106	1,073
不明	0	1	0	0	0	0	0	1
計	112	832	13	96	37	101	126	1,317

(4) 効果と課題

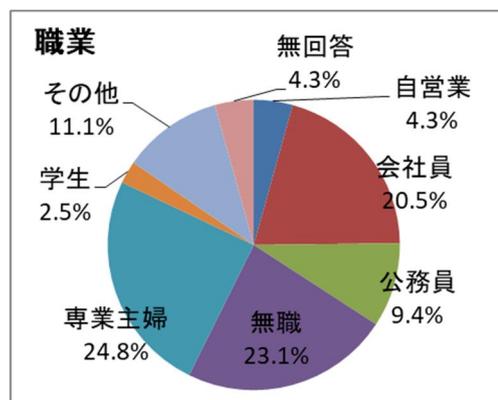
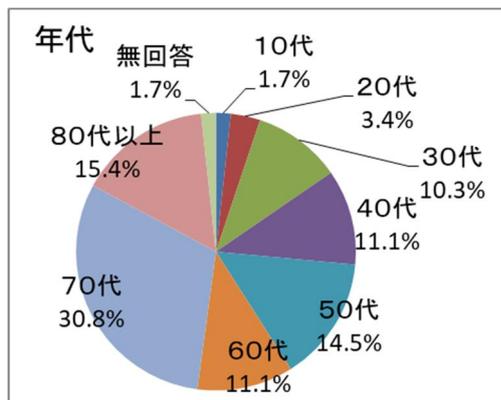
- ・これまで市と具体的にパートナー事業者としての連携をしたことがなかったが、事業に加わって良かった等の声をいただいている。
- ・幅広い年代にエイジフレンドリーシティについてPRできたと考えている。
- ・より多く参加できるように、協力店の拡大や周知方法を考える必要がある。

4 いきいきエイジの日

日程 8月27日(土) 10:30~16:00 アルヴェ1階きらめき広場
ステージ カンプレ45 ミニライブ、マタギスナイパーズ中継、いいあんべえ体操
ブース いきがいマッチング、健康チェック、生涯学習、家庭菜園相談、スマホ体験・初心者講座、高齢者の見守りほか16ブース設置
参加者数 のべ700名(実人数 約200名)
協力パートナー事業者数 5事業者

・アンケート結果 回答数117名 男性33.3%、女性59.0%、無回答7.7%

(内訳)



- ・子どもからお年寄りまで楽しめるイベントで大変良かった。(小学生・男性)
- ・あらゆる世代がお互いの存在を認め、支え合える街づくりを実現できるように取組を推進して下さい。(30代・男性)
- ・日々の暮らしに取り入れることや知らなかったエイジフレンドリーなどを知れて良かった。楽しかった。次回は祖母もつれて来たい。(30代・女性)
- ・自分の両親もああいう風に楽しそうに生きてほしいと思った。(30代・女性)
- ・色々なサービスや機関があることが分かった。(50代・女性)
- ・高齢化社会の今日、いかに元気で生きていくための刺激を受けた。私もまだまだできそうと再確認できました。(60代・女性)

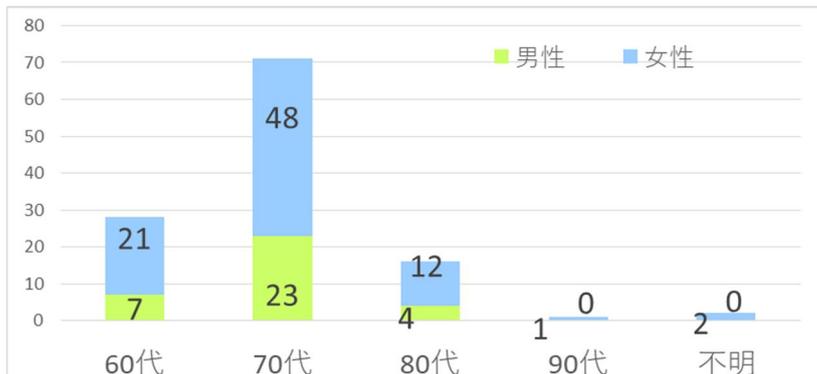
(協力パートナーの声)

パートナーの交流が図れ横の繋がりができて良かったなどの声があった。

5 エイジいきいきポイント

日程	10月1日から11月30日まで
内容	本市主催講座や健康づくりの対象事業参加者にポイントを付与。 2ポイント獲得で応募可能とし、抽選で30名に映画鑑賞券を贈呈。
事業数	57事業（19課所室）
応募数	118件

(1) 応募者内訳（年代別）



(2) どのようにして知ったか

ポスター・チラシ 39、広報あきた 28、知人の紹介 8、ホームページ 0、その他 50（その他には、参加した事業名を記載したものが多かった）

(3) 効果と課題

- ・事業が一覧で見えることにより、他にも参加してみようと行動するきっかけになったという声があった。
- ・主催者から、開催事業の集客が相乗効果になり良かったという声をいただいている。
- ・参加して事業を知る方が多かったことから、ポスター・チラシ等にエイジいきいきポイント対象事業であることが分かるよう掲載することが必要と考える。
（右は令和4年度の例）



6 担当プロモーション活動

内容 市主催イベント会場に出向き、シールアンケートを行いながら参加者と交流しエイジフレンドリーシティの取組や次期事業について周知啓発した。

(1) 参加者数

- ・10/10 健康のつどい（観光文化スポーツ部） 130名
- ・10/15 健康フォーラム（保健所） 106名
- ・12/4 フロアカーリング大会（観光文化スポーツ部） 118名 /計 354名

(2) 効果と課題

- ・アンケートの際に今後の活動について話してもらうと、話した後は当方の取組を伝えやすくなり、効果的な周知啓発の機会となった。
- ・確実にエイジフレンドリーシティについて啓発できるため効果的だが、対象がどうしても少人数となる。

7 出張講座

内容 市民の集まり等に出向きエイジフレンドリーシティの理念を伝えるとともに、高齢になっても自分らしく暮らすため大切なことをともに考える。

(1) 参加者数

- ・12/7 東部シルバーカレッジ（環境部と連携） 30名
- ・12/14 農業法人白華の郷（依頼） 11名

(2) 効果と課題

- ・コインバスは利用されているものの、本市エイジフレンドリーシティの取組が高齢者に届いていない状況を直接感じ取る機会となり、さらなる啓発活動を要する。
- ・市民に直接伝えることで理解が深まり、草の根的な周知の継続も必要である。

8 ワークショップ

内容 高齢になっても自分らしく生きることを目標にこれまでの自分自身を振り返り、強みを生かして退職後等の活動を見つける。

テーマ 「セカンドステージを考えよう～趣味を活動に変える～」

(1) 参加者数

- 1回目 11/25（金） 18:00～19:30 20名
- 2回目 12/22（木） 18:00～19:30 21名

(2) 効果と課題

- ・エイジフレンドリーらしい活動の促進を目的として実施したところ、多様な年齢性別の参加があった。
- ・参加者が実際に活動するには相談体制も必要と感じている。
- ・開催曜日や時間帯等、より多くの方が参加しやすい日程の検討が必要である。

9 エイジフレンドリーシティパネル展

内容 第3次行動計画、ピックアップ事業やプロモーション事業の紹介など

日程	市庁舎 1階市民ホール	7/19～7/31、9/16～9/30
	中央図書館 明德館	8/3～8/21
	北部市民サービスセンター	10/5～10/26
	土崎図書館	11/1～11/13
	イオン土崎港店	11/4～11/21
	西部市民サービスセンター	11/29～12/15

10 広報番組

- ・市長広報番組「わがまち大好き秋田市長です」8/21 11:40～11:55
テーマ 8月24日はエイジの日！高齢者にやさしい都市を目指して
- ・秋田市広報番組「こんにちは秋田市から」（5分番組）9/24、29
テーマ ご存知ですか？エイジフレンドリーシティの日
- ・CNA秋田ケーブルテレビ「し～なチャン」（生出演）8/25

11 参加人数計

令和4年度の主に啓発事業に参加したのべ人数は、以下の通り。

特別講演会	150
記念講座	45
スタンプラリー	1,229
映画祭	991
いきいきエイジの日	200
エイジいきいきポイント	117
担当プロモーション活動	354
出張講座	41
ワークショップ(3月に3回目実施予定)	41
小学3年生副読本学習時の啓発チラシ等配布	2,113
パートナー事業者研修会	65
計	5,346